

Denodo Platform

データ仮想化基盤ミドルウェア
デノドプラットフォーム

新しいデータマートを1日で構築
データ仮想化技術でアジャイルデータ戦略を推進

データ鮮度向上

システム間のデータ結合をツールで簡単構築
最新データにオンデマンドでアクセス可能に

サービス提供の迅速化

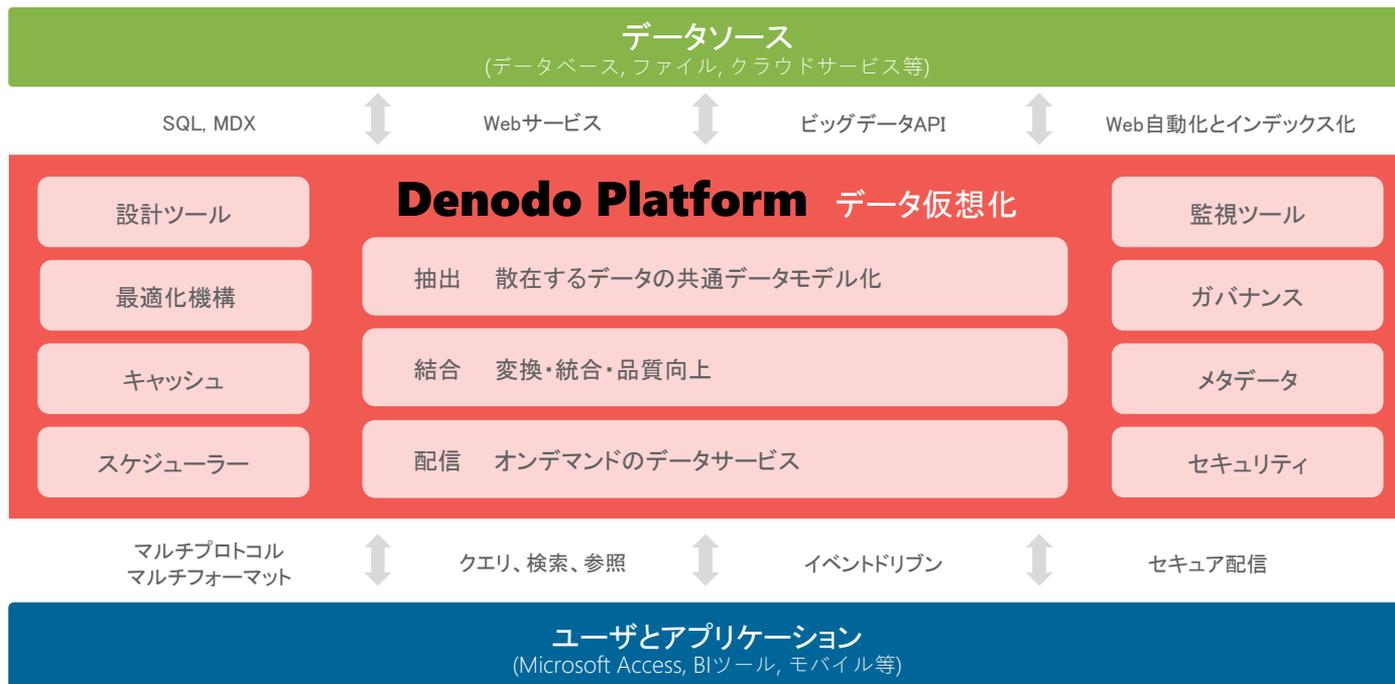
システム間のインターフェース開発が簡略化
余分なデータ蓄積も不要となりTCOを削減

データガバナンス確保

データの出自や加工来歴をビジュアルで把握
アクセス制御や監査機能でセキュリティ担保

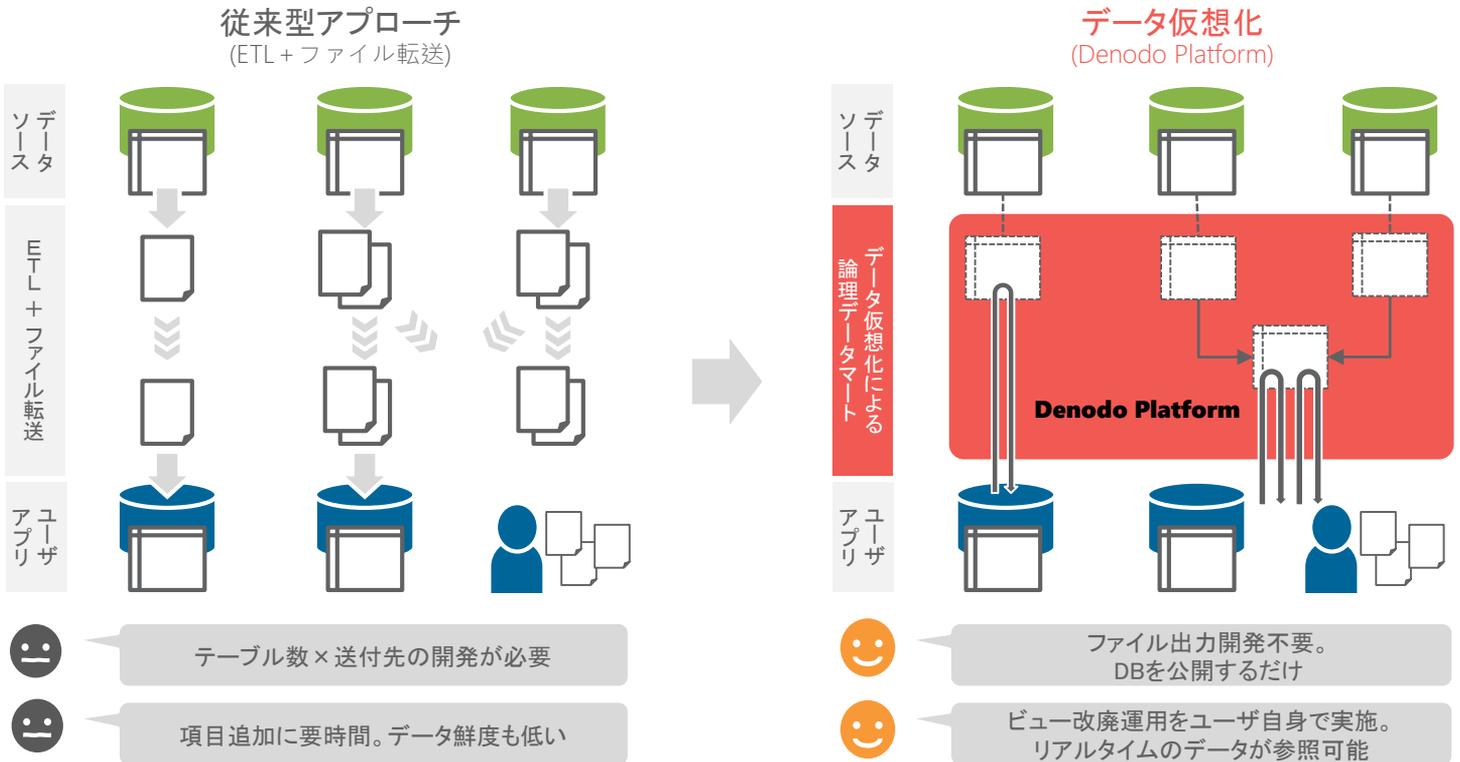
Denodo Platformが実現するデータ仮想化

社内外に散在している、形式や書式の異なるデータを共通のデータモデルに統一し、リレーショナルデータベースやWebサービスとしてアクセス可能にします。オンデマンドで各データソースから必要なデータだけを抽出し結合・配信するため、従来ETL(Extract、Transform、Load)ツールでは必要だった元データの複製や中間データの蓄積が不要となり、データの管理負荷を軽減します。



Denodo Platformはシステム間I/Fの 開発スピードを向上させます

ファイル転送を中心とした従来型のシステム間インタフェース処理は、データの出し手側と受け手側双方が密に連携しながら開発を進める必要があるため、コスト面でも開発期間の面でも負荷が高いものでした。Denodo Platformのデータ仮想化技術はデータの出し手側のタスクを大幅に削減し、データの受け手側による主体的なインタフェース開発を実現します。



従来型アプローチとの違い: 高い敏捷性と柔軟性

Denodo Platformは開発コストの削減だけでなく、データサービス開発に敏捷性 (Agility) と柔軟性 (Flexibility) をもたらします。データ仮想化技術によりデータやメタデータをリアルタイムで参照しつつ、アジャイル的にデータモデルの開発・検証を繰り返しながらデータモデルの品質を高めていくことができるため、BI (Business Intelligence) ツール等を用いたデータ分析の効果を最大化できます。

	従来型アプローチ (ETL・ファイル転送)	データ仮想化 (Denodo Platform)
データ取得コスト	✗ ・上流と下流双方で開発が必要	◯ ・上流システム側の開発不要 ・Denodo Platform側からデータを取得
取得データ種類	△ ・構造化データに限定	◯ ・構造化データ以外にも、準構造化、非構造化データも取得可能
柔軟性	✗ ・上流データ変更の度にジョブやETLの再構築が必要	◯ ・仮想ビューの再定義で、容易に設計や変更が可能
データ鮮度	✗ ・バッチ処理	◯ ・データを上流システムからオンデマンドで取得
ガバナンス	✗ ・個別に機能構築が必要	◯ ・データトレース、セキュリティ、監査/監視が可能

Denodo Platformで欲しいデータを 欲しい時に整備し共有できます

Denodo Platformを使えば、IT部門へ開発を依頼しなくとも、業務部門だけで欲しいデータが揃った論理データマートを構築しユーザ間で共有できます。たとえば、フロントシステムからリアルタイムなデータをオンデマンドで集計し、BIツールで分析することも可能です。また、Denodo付属のGUIツールを使ってデータの出自を項目レベルで確認できるため、集計済みデータから明細データを遡及するなど、データ調査にかかる時間を大幅に短縮できます。

例：既存の論理DMを結合して新しい論理DMを作成

1 データソースの選択

アクセスしたいデータソースのテーブルを選択し論理DMを追加

上流システムのDBから手元のファイルまで扱えます

2 条件設定 (結合・抽出・集約)

結合元となるもうひとつの論理DMを選択し、結合条件の項目を矢印で接続

抽出条件を付与したり、合計・平均等の集計も行えます

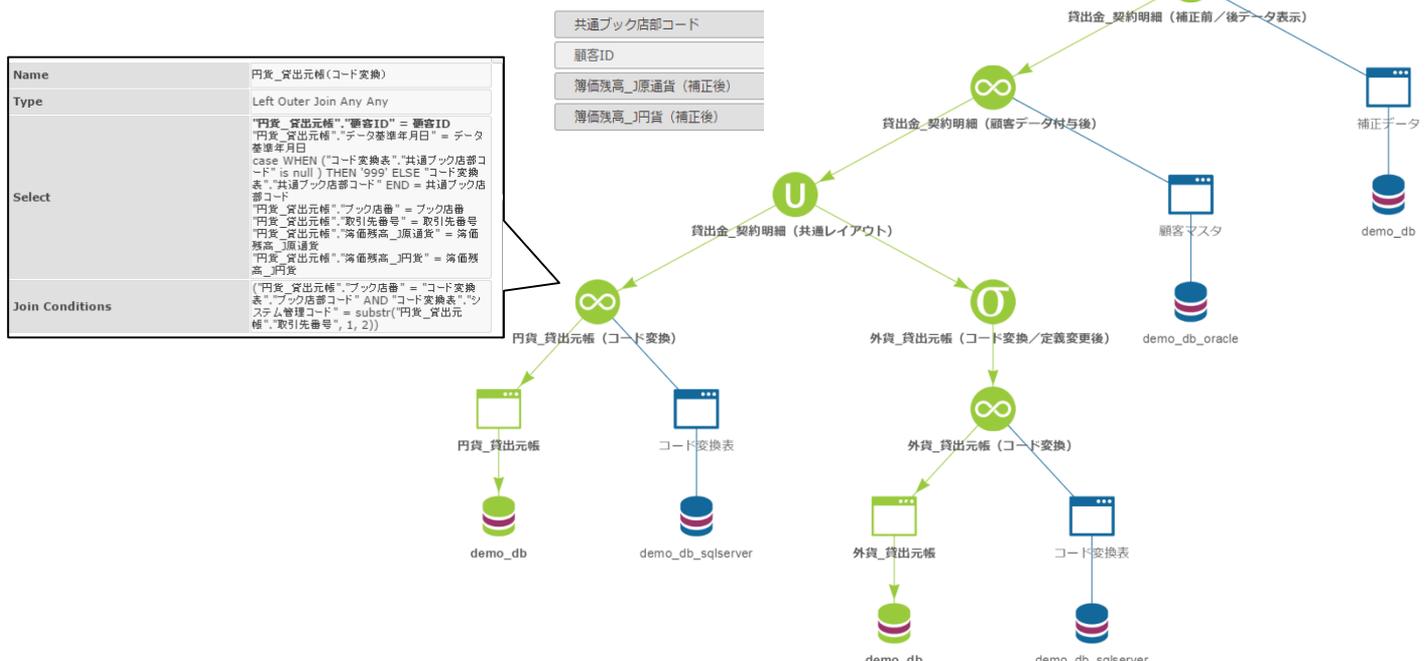
3 出力項目選択

新しい論理DMの出力項目を選択・命名

BIツールや Microsoft Access で利用

データの出自や加工履歴が一目瞭然

データリネージ機能を使えば、あるデータ項目の元となったデータソースと加工経路をビジュアルで特定できるので、トレーサビリティの確保に役立ちます。また、ツリー上のアイコンをクリックすると、その論理DMに含まれる列名やデータ型、加工内容(結合条件、抽出条件等)を確認できます。



適用パターン

Denodo Platformは迅速で付加価値の高いビジネス展開が必要とされる各種領域で適用されています。

ビジネススピードの向上

リアルタイムレポート
論理データマート作成
DWHプロトタイプ環境

散在するデータの一元化

顧客情報一元化
BPMへのデータ提供
B2Bデータ連携

ビッグデータの活用

ビッグデータとDWHの統合
SNS情報の活用
クラウド/SaaSとの統合

多様なデータサービスの実現

社内外Web API提供
データ移行・統合支援サービス
データマッシュアップサービス

適用事例

全世界700社以上の企業が導入しています。金融、通信、製造、小売など業種問わずに幅広く展開しています。

導入目的	適用場面
論理データマート 国内大手信託銀行 規制対応	金融機関の規制対応に必要なデータを、Denodo Platformを介して収集。新規DWHの構築や、データソースシステムのI/F開発無しで規制対応に必要なデータの収集を実現。I/F開発コストを50%削減。
顧客情報一元化 スペイン大手通信 コールセンター業務	複数のデータソース(DB、SNS、Microsoft Excel等)の情報をDenodo Platformを用いてリアルタイム連携。1つの画面に顧客に関する情報を集約し、カスタマサポートの品質を向上。結果として顧客定着率を2倍に、バックオフィス作業を50%削減。
データ移行・統合支援 米国大手ロードサービス 分社化によるデータ分離	分社化によるシステム移行に際し、Denodo Platformを活用。既存システムのデータや定義への影響を最小化した形でデータ移行を実現。
ビッグデータ統合 米国大手建設機械製造 サプライチェーン効率化	建設機材に搭載したセンサーのデータを含むビッグデータ基盤と連携。他システムのデータと統合し、リアルタイムで分析することでカンバン方式による交換部品の手配を実現。機材故障時の機会損失(10万ドル/回)の発生を抑制した。

Denodo Platform 受賞実績

フォレスター社やガートナー社等のITリサーチ企業からITベンダーに贈られる各種の賞を受賞しています。

- ✓ Forrester Enterprise Data Virtualization分野のForrester Waveで“Leader”ポジションを獲得
- ✓ Gartner DataManagement and Integration分野で“Cool Vendor”ステータスを獲得、Data Integration Tool分野のMagic Quadrantで“Challengers”ポジションを獲得。
- ✓ Ventana Information Technology Innovation Awards分野のInformation Management賞を受賞

資料請求、製品紹介、デモンストレーションをご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

*無償でダウンロードしお試しいただけるDenodo Expressもございます。

denodo.comよりダウンロード: <http://www.denodo.com/ja/denodo-platform/denodo-express>

日鉄ソリューションズ株式会社

お問い合わせ先

金融ソリューション事業本部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目17-1

TEL: 03-6899-6915 (担当:中谷)

Mail: denodo@jp.nssol.nipponsteel.com

https://www.nssol.nipponsteel.com/ss/finance/denodo_platform.html

※NS (ロゴ)、NS Solutionsは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

※その他本文記載の会社名及び製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。